

特定非営利活動法人トラストサルン釧路 2023 年(令和 4 年)度活動報告

トラストサルン釧路は、釧路湿原の生態系を保全するため流域内に自然保護地をつくり、生態系の維持と回復、調査研究、普及啓発、提言などの活動をしています。

2022 年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、保護地視察会などのイベントや市民参加型の行事は実施できませんでした。それでも会員はじめ多くの方々のご支援のもと、協定による新たな自然保護地の成立など、定款に定めた特定非営利活動を以下のように実施しました。

なお 2022 年度において、非営利活動以外の活動（収益事業）は行っていません。

1. ナショナルトラスト活動

2022 年度は、釧路湿原国立公園の特別保護地区であるキラコタン岬に近接する山林 10.1 ヘクタールについて、所有者と自然環境保全協定を結び、当会の第 49 号自然保護地となりました。この場所は国立公園の普通地域で、森林伐採や開発も可能な土地でした。これで保護地は 49 カ所、合計 544ha 余りになりました。また現在、大型の土地取得について話し合いがまとまっており、並行して湿原に隣接する山林寄贈の申し出もあり、手続きを進めています。土地取得のための湿原保護基金には本年度 49 件、621,000 円が寄せられました。

2. 自然再生の取り組みと保護地の管理

自然林再生のために地元樹種の苗木づくりと植樹を継続して行いました。会員等のボランティア作業により保護地内に 155 本の植樹、苗畑では苗木約 2,000 本を管理し、植栽地での下草刈りや防鹿柵の修繕も行いました。植栽地の下流では湿原植生が回復し、水棲昆虫や小鳥の生息が確認されるなど、自然環境の復元が認められています。また、勝野記念育苗事業は役員のボランティア作業により苗木約 6,800 本の管理を行いました。橋場植林事業では新型コロナの影響などで本格的な植林活動は行なわず 23 本にとどまり、劣化した小型防鹿ネットの修理などを行いました。

3. 会の基盤づくり

会員や役員による直接の入会勧誘により新会員が 7 名（2 団体を含む）あり、正会員数は 187 名となりました。運営費への寄付も多数寄せられ、多額のご寄付もいただくことができました。森づくり活動に関しては、次年度（2023 年度）の自然林再生のための助成金を獲得しました。

4. 広報・主張・啓発活動

2022 年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、市民参加行事は中止となり、一般市民に対する直接の啓発活動はほとんど行えませんでした。会員向けには会報『サルンだより』を 3 回発行しました。インターネットのホームページやフェイスブックでも会の活動を紹介しました。新たに立ち上げた YouTube チャンネルでは、動画を用いて活動を紹介しました。トラスト地マップ作製のための寄付については現在、資料の整理と確認を行っています。9 月に釧路市で開催された日本湿地学会の会場で、『湿原の新聞』を配布しました。12 月に東京で開催されたナショナル・トラスト全国大会に参加し、実践団体として当会の活動を報告、釧路湿原の抱える課題にも言及しました。また釧路自然保護協会ほかの自然保護団体と連名で、釧路湿原の中で進む太陽光発電所の建設により生息地が狭められているキ

タサンショウウオをはじめ、希少生物とその生息環境の保全に向けて、建設に歯止めをかけるための要望書を作成し、釧路市長に提出しました。

5. 他機関・団体との連携

前年度より協力が始まった別海町の「宮舞町湿原を大切に思う会」の講演会では、当会が撮影した宮舞町湿原のドローン画像が一般市民向けに展示されました。釧路湿原自然再生協議会および小委員会に出席し、「生態系評価ワーキンググループ」にも参加協力しました。日本野鳥の会釧路支部とは水鳥観察会を共催するなどの良好な関係にありましたが、このたび団体会員として入会いただきました。

【ご寄付】

○企業・団体等より

古典文学研究 WS の会、山梨学院小学校けやきの会、一般財団法人未来 2016 より⇒湿原保護基金へ
(株)藤プリント、JA 釧路地区女性協議会、一般財団法人未来 2016、サルン作業チーム、日本野鳥の会釧路支部より⇒一般会計へ

○個人より

湿原保護基金への寄付を 49 件いただいたほか、一般会計（運営費）への寄付を 51 件、Yahoo! ネット募金も含めて多数の方々からいただきました。

【助成金等】

○2023 年度の森づくり活動に対する助成金（コープさっぽろ未来の森づくり基金）100,000 円を、2022 年度中に新たに受け入れました。

【表彰等】

なし

2022 年度活動日誌（主なもの）

【2022】

- 4/4 勝野記念育苗事業開始（11/18 まで、延べ 31 日）
- 4/17 橋場植林事業開始（11 月まで）
- 4/18 自然環境保全協定準備地（鶴居村）の現地確認（黒澤理事長、松本副理事長）
- 5/17 会員のボランティアによる一般緑化事業開始（10/16 まで）
- 5/15,18 定時監査（監事持ち回り）
- 5/19 第 49 号自然保護地の協定成立
- 6/2 2021 年の受贈地に関する問題について顧問弁護士と面談（副理事長）
- 6/6 サルンだより 134 号発行
- 6/26 2022 年度通常総会開催、第 1 回理事会開催
- 8/10 保全協定による第 49 号トラスト地に看板設置
- 9/2 釧路市で開催された日本湿地学会で『湿原の新聞』を配布
- 9/13 取得候補地（標茶町）の現地視察（松本副理事長、泉理事）
- 9/26 サルンだより 135 号発行
- 10/23 宮舞町湿原を大切に思う会の講演会に参加
- 12/3 ナショナル・トラスト全国大会にて会の活動を報告（泉理事）

【2023】

- 1/15 サルンだより 136号発行
- 1/21 理事意見交換（電子メール活用、受贈地問題）
- 2/22 コープさっぽろ未来の森づくり団体助成贈呈式および交流会に参加
- 3/10 釧路湿原自然再生協議会に出席
- 3/17 「釧路湿原周辺における再生可能エネルギー事業に関する要望書」を、他団体とともに釧路市長に面会提出（泉理事）